

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23(9)	依存心の強い入居者様及び帰宅願望の強い入居者様に対する対応	他入居者様の言葉で相手の心に訴え、それぞれ役割分担を生活の中に取り入れ同じ目線、同じ環境下で依存心の軽減をはかり、又帰宅願望の方には私も昔はそうだったと共感できる会話と納得を繰り返し、過去を振り返り、心身の安定を共に図る。	「ねえ～お～い！！」の依存心から(やってほしいコール)の発語が繰り返し出た時は違うユニットに移動し、なぜ大声をだされるのかお客様同士でその人の心や考えを引き出し吐き出して頂く。その場に職員同席し言葉を入れず、ただ見守るのみ聞きとった言葉をケアミーティングで改善策を話し合い、協力の得られる家族には協力して頂く。	6ヶ月
2	4(3)	近隣の他事業所との横の線を少しずつではあるが広め、お互いお客様同士の交流を図りたい。	生活の中に刺激を取り入れる。顔なじみでない他者との関わりにより、認知症の進行を遅らせる。	運営推進会議などにて管理者同士の意志の疎通は取れ始めたが、その上で職員同士、お客様同士の交流をお互いに提供できるよう行ったり来たりの場に工夫して行く。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。